

国際交流協会ニュース

— Ichihara International Association —



2023年7月18日 発行 市原市国際交流協会
〒290-8501 市原市国分寺台中央1-1-1 市原市役所 観光・国際交流課内
TEL 0436-23-9866 FAX 0436-21-0332
e-mail: iia@city.ichihara.lg.jp
ホームページアドレス <https://iia-ichihara.org/>

やさしい国際理解セミナー 2023・2・11

講師：浦木 仁 氏 総務部

「ラテンアメリカ3ヶ国での
国際協力と生活・文化・自然」

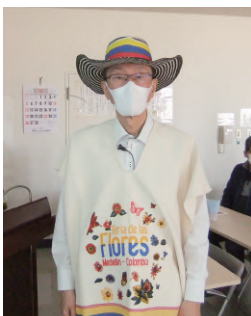


日本の母の日の1/3がコロンビア産のカーネーション

第8回となる総務部の国際理解セミナーは五井公民館に於いて2月11日、市内青葉台在住の浦木仁氏を講師にお迎えし開催された。浦木氏はJICAシニア海外協力隊としてメキシコ・チリ・コロンビアに2009年、2013年、2019年と足掛け10年間に各2年間づつ活動・生活して感じたことを語って頂いた。講師は日本の化学品加工工場の製造部門で35年間働いた経験を活かし日本の物づくりの方法で発展途上国の工場生産性を改善するため赴任された。

一口に中南米というのが、3ヶ国に滞在し感じられたのは各国各様だということ。メキシコ：仕事：寛容、大雑把、計画性が無い 生活：開放的、ファーストフードが多い 社会：お国自慢

チリ：真面目、時間を守る、秘密主義、飲食物は種類が多く美味しい、国歌・国旗が少くない、米国風



コロンビアの衣装を着た講師

でスマート
コロンビア：真面目、時間を守る、約束を守る、先進的、秘密主義（意地悪）、国家・国旗は多くは無
い、米国風で

マート、英語を話す人が多い、宗教的セレモニーを大切に

3ヶ国で同じスペイン語でも国により単語が違うというのにも驚く。

今回のセミナーで興味深かったのは各国の紹介をするにあたり、国歌の紹介をしたことで3ヶ国の国歌を映像と音声で視聴することができ参加者も感銘を受けた様子であった。メキシコ国歌は国土の1/3をアメリカに取られた後に制定されたことから



チリの市場にて

戦いの歌となっている。チリはスペインからの独立を契機としていることから、独立の尊厳と国土・自然の賛美の内容となっている。コロンビア国歌は「不滅の栄光」と題し、港町カルタヘナの独立を契機に作られている。

浦木さんの活動の中でラジオ体操の普及

に取り組む動画も紹介されたが、参加者皆真面目に取り組む姿が印象的であった。

コロンビアでのラジオ体操は朝夕で回数が2年間で395回、参加延べ26千人。食べ物編では太った人が多いメキシコ。郷土料理のコロンビア。食材が豊富で、日本の味に近くておいしいチリ。

最後に3ヶ国で暮らして感じたことを以下の通り纏めて頂いた：

- ①日本と違った文化やその多様性がある。
- ②仲間（人間関係）を大切にすることが、最も大切。
- ③積極性を見習おう。毎日を楽しく生きることを学ぼう。
- ④日本（人、技術）は、信頼されている。
- ⑤皆さんの持っている知識や技術はレベルが高い。
- ⑥あわてず、あせらず、あきらめず、あてにせず、でも決して、あなどらず。世界に目を向けよう！



メキシコシティ歴史地区

もっと知りたい?よその国「イラク」

イラクの医療支援を続けるJIM-NETの活動

2023・1・22 交流部会



交流部会の「もっと知りたい?よその国」シリーズが舞台をイラクに取り1月22日、ウエルシアコミュニティーセンターで、特定非営利活動法人JIM-NETから長谷部貴俊さんをお招きして、開催された。当日は、40名近くの聴講者が集まり、熱心に長谷部さんの話に耳を傾けた。

湾岸戦争は1990年イラクのクウェート侵攻を契機に勃発した戦争である。戦

は1991年に終了、イラクは2021年戦後補償を終えたが、国土はスンニ派、シーア派、クルド人支配地域に分断され、これにアルカイダ、イスラム国などのイスラム過激派が勃興し、内政は依然として混乱状態にある。

JIM-NETは戦争の影響によってがんや白血病などにかかるイラクの人々が、医療を受けられ、命が助かることを目指し、2004年からイラクで医療支援を行っている。バクダッド近辺では安全が保てず現在も主たる拠点を北部のクルド人地域に置いているとのことであった。

何度もイラクに渡り、直接支援の現場にいる長谷部さんから、子ども達や現地の様子が語られた。湾岸戦争やイラク戦争で使用された劣化ウラン弾の放射能によって、現在もなおイラク国内で病に苦

しむ子ども達がいる。十分に医療設備がなく、薬は患者本人が調達しなければならない場合もあるという。JIM-NETは、闘病中の子ども達を描いた絵を入れ物にしたチョコレートの売り上げを募金するという「チョコ募金」を行っている。過酷な環境に置かれながらも、逞しく生きる子ども達の姿が、かわいらしい絵を通して伝わってくるようだった。当日は、チョコ募金にも多くの関心が寄せられた。



講演会「日米の教育制度の共通点・相違点」

講師 マクシミリアン ガンブル氏 2023・2・5 姉妹都市部会

「アメリカの生徒たちも日本と同じような形で学校で授業を受けているのだろうか」と、ふと疑問に思うことがあるのではないのでしょうか。そのような疑問に答えて頂くために、この度、千葉県教育委員会学習指導課でALTプログラムコーディネーターとして勤務している Wisconsin 州出身のマクシミリアン・ガンブルさんに「日米の教育制度の共通点・相違点」と題して講演を行って頂いた。

講演の内容(話題)は多岐に渡っていましたが、本当に私たちが身近に感じていたことばかりでした。例えば、アメリカの学校の教育内容(水準)は国(連邦政府)ではなく各州が決めていること、義務教育期間は12年間ですが学校の呼

称「小学校」「中学校」「高校」の各期間は固定されておらず各州で異なること、学年は9月に始まり6月までが一般的であること、中学・高校では大学と同じように生徒ひとりひとりが自分の時間割を決めて毎日違う教室に通うこと、等です。またこの他に、教師の役割、ホームルーム(HR)や制服、クラブ活動についてもお話頂きました。

講演を聞いて一番驚いたことは、中学・高校では「HR用の教室が無い」ということです。日本では各組のための教室が設置され、毎朝のHRから始まってほとんどの授業を全員がそこで受けることになるが、アメリカでは各生徒が自分で決めた時間割に従って教室を移動するためHR用の教室がない。結果として科

目ごとに顔を合わせる生徒が異なるため生徒同士の結びつきはどうかと心配するが、反面早い時期から自分の道は自分で選んで決めるという育てられ方をされているんだと目が覚めたような気持ちになった。他にも先生の居場所は各教室で職員室は無い、進路指導は専門の担当がいる等違いは多く、終了後の質問時間も長くなった。



第1部 「日本の伝統医療 Judo-Therapyを世界へ」
第2部 「コロナとココロ」
 講師 森川由基・梢氏 2023・6・18



今年のIIAの講演会は6月18日市原市民会館会議室1・2に於いて約50名が参加して開催された。テーマは「日本の伝統医療」・「コロナとココロ」の2つであった。

第1部「日本の伝統医療」では帝京平成大学・大学院講師の森川由基氏が「Judo-Therapyを世界へ」と題し、戦国時代からの戦いの歴史の中から相手を倒す殺法と共にケガを治す活法という柔術の2つの要素の中から江戸の平和な時代に活法が「手術や投薬をしないでケガが治せる接骨院（整骨院）」に至った歴史と世界が評価する柔道整復術について熱く語られた。

柔道整復術は医療行為を医師以外で唯一国が認めており、またWHOも認めている日本の伝統医療、レントゲンを撮らず手術によらない医療として認知されてきている。特に災害時の医療環境が整わ

ない現場で適切な医療を施すことができるとして注目を浴びている。今年2月のトルコ地震では、「あそこに行けば治る」「神の手」と話題になったこと、モンゴル国立医療大学ではセラピーコースが開設されている、ベトナムのホーチミン国立伝統医療大学では柔道整復師養成講座の設置を目指しているということなどが紹介された。

第2部「コロナとココロ」では同大学非常勤講師の森川梢氏から公衆衛生学の観点からコロナ禍に関連する体と心の健康の問題、特にメンタル面での健康についてのお話を頂いた。

今回の新型コロナウイルスはSARS、MERS等約50種類あるコロナウイルスの一つであり正式名はCOVID-19と呼ばれている。一般にはコロナは体の病気と言われているが実はコロナは体の変調と共にストレスによってメンタルの障害を引き起こすことが報告されている。

こうしたLONG COVIDと呼ばれるコロナ後遺症では疲労、頭痛、うつ症状、嗅覚・味覚異常、睡眠障害等様々な症状が報告されている。またコロナの影響は高齢者・貧困層・障害者等社会的弱者への影響が大きいこと、又自殺者の増加も大きな問題となっている。このように新

型コロナは体の変調の他にメンタルの障害が大きな問題となっている。

マスクの話では日本ではマスクの着用率が世界的に見ても高いこと、これはイースラム圏でヒジャブで顔を隠す文化、イギリスでさほど陽光が強くないのにサングラスをして目元を隠す文化に通ずるものがあり、オランダではマスクにより親しみが減るという統計があることが紹介された。こうしたことで日本では口元より目元を見ることがあるのかも知れないとユニークな文化論が語られた。実際、日本のマスクへの執着は世界的に見て突出しているとのことであった。又マスク着用での弊害なども語られた。

最後にハーバード大学が提唱する幸せを取り組む以下の11項目が紹介された：
 ①定期的に親かな行為を行うこと ②緑をみること ③感謝すること ④友人や家族との親密な関係を築くこと ⑤意思決定の回数を減らす ⑥ボランティアをすること ⑦子供の頃の趣味の再開 ⑧家事の委任などの時間節約にお金を使うこと ⑨経験にお金を使う ⑩いつもと違う帰り道を迎えるだけでいいから新しいことを経験する ⑪幸せな人と一緒にいる。

外国人相談員ロドリゲス けいこさんが昨年9月から着任

前任の笠原さんの後任としてロドリゲスさんが外国人相談員として勤務している。国際交流協会の事務局の役割も担っている：(コメント)
 火曜と金曜の9：30～15：30まで市役所新庁舎3F観光・国際交流課におります！メキシコ人サラリーマンと結婚し

て、兵庫県から千葉に来ました。男の子二人の母です！日本語もあまり上手に話せないくせに、なぜか英語とスペイン語も勉強しています。市原市に住む外国人の皆さまの毎日を少しでも楽に？できることがあれば手助けしたいと思っています！忙しい時は辛い顔していますが、皆さん気軽に立ち寄り下さい。

Tel : 0436-23-9866
 Mail : iia@city.ichihara.lg.jp



2023年度 年間活動予定表

	4, 5月	6月	7月	8月	9月
全体事業	4/7-15 NECTJ 交流プログラム 5/17 (水) 総会	18 (日) 講演会 「日本の伝統医療Judo Therapyを世界へ」	27日 (木) 在住外国人児童・生徒 のためのサマースクール 青少年会館	20 (日) 国際交流音楽祭 市民会館小ホール	30 (土) 上総国府祭り
総務部会 部会長 伊東 ☎090-6129-4900	IIAニュース、・ホームページ編集、 国際交流センター管理業務：原則として毎週火曜日国際交流センターにて定例会議を行う				
行事予定発行：2, 3か月毎に必要なに応じて実施、 4Qに実施される国際理解セミナーの検討：適宜検討会議を実施					
ふれあいサロン部会 部会長 田中 (幹) ☎24-7502	(通年) ◆サロン未来's 原則第3 (水) クラスオンジャパン (COJ) の日本語教室に合流 (事前に問い合わせ下さい) 間崎				
◆アミーゴの会 (在住外国人児童生徒のための学習教室) 毎週 (土) 午前 五井公民館 田中 ☎24-7502					
交流部会 部会長 彦坂 ☎090-2741-4388	5/27 (土) チャレンジ韓国語	10,24 (土) チャレンジ韓国語	8,22 (土) チャレンジ韓国語 22 (土) もっと知りたい? よその国「ネパール」		9 (土) チャレンジ韓国語
姉妹都市部会 部会長 須貝 ☎080-1178-5922			22 (土) -31 (月) 姉妹都市モビール 青少年訪問団受入		
日本語教室部会 部会長 小久保 ☎74-8056, 080-2556-7317	(通年) ◆五井教室 毎週 (木) 10:00~12:00 五井会館 高梨 ☎24-3032 井上 ☎090-1110-8578 ◆ラベンダー教室 毎週 (金) 10:00~12:00 青少年開館 小久保 ☎080-2556-7317 ◆姉崎教室 毎週 (月) 09:30~11:30 姉崎公民館 小久保 ☎080-2556-7317 ◆南総教室 毎週 (日) 13:00~15:00 南総公民館 中田 ☎090-2560-9967 ◆白金子ども日本語教室 毎週 (金) 14:40~16:10 白金小学校 行方 ☎090-2653-9309 (白金小が特別日課の日は時間変更あり) (小学生対象・幼児や中学生も可)				
	学年はじめ教室 4/1 (木) ~5 (月) 白金子ども教室	第1回日本語教室部会会議 28(水)14:00~16:00 (五井公民館研修室1)	(夏休み) 8/3 (土) ~8/31 (木) 五井教室、 7/22 (木) ~8/31 (木) 白金子ども日本語教室 *上記以外は夏休みなし		

団 体 会 員	
(公財) 市原市スポーツ協会 理事長 下原 ☎42-7712 斎藤	市原ライオンズクラブ 会長 渡邊 ☎98-5611 (山口) *5月県年次大会 *7月第105会世界大会 (ボストン) *8月*コスモス国際親善野球

賛 助 会 員
・市原市小学校長会 ・市原市中学校長会 ・市原市立五井中学校PTA ・市原市立八幡中学校PTA ・市原市立若葉中学校PTA ・市原市立京葉小学校PTA ・市原市立五井小学校PTA ・市原市立五所小学校PTA ・市原市立白金小学校PTA ・市原市立若葉小学校PTA

詳細は担当にお問い合わせください。

10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 (日) 上総国府祭り 22,29 ((日)) 秋季TOEIC講座	5,12 (日) 秋季TOEIC講座	3,17 (日) 秋季TOEIC講座	冬季TOEIC講座	冬季TOEIC講座	冬季TOEIC講座
	24 (火) IIAニュース第85号発行		「やさしい国際理解セミナー」		26 (火) IIAニュース第86号発行

(HP編集会議は緊急性に応じて適宜開催する)

☎0438-63-1103

◆翻訳ポルトガル語 (日系ブラジル人の相談受付対応と翻訳を実施) 平出 ☎66-5315

14 (土) チャレンジ韓国語 29 (日) 国際交流ひろば	11,25 (土) チャレンジ韓国語	9 (土) チャレンジ韓国語		食を通して文化を知る	
		モバイル国際交流協会MISCAとインターネット交流			

◆八幡教室・午前教室 毎週 (日) 10:00~12:00 青少年会館 杉山 ☎36-6825
 午後教室 毎週 (日) 13:00~15:00 青少年会館 杉山 ☎36-6825
 夜教室 毎週 (水) 18:30~20:30 青少年会館 櫻井 ☎090-3812-4424
 ◆辰巳台教室 毎週 (土) 18:30~20:30 辰巳台公民館 松永 ☎090-8477-7747

第2回日本語教室部 会会議 25(水)14:00~16:00 (五井公民館研修室1) 秋休み 10/6(金)~10(火) 白金子ども教室	12/11(月) 姉崎教室 生け花教室 12/21(木) 五井教室 年末パーティ 12/27(水) 八幡水曜夜教室 ティーパーティ (冬休み) 12/23~1/8 白金子ども教室 12/22~12/29 五井教室	第3回日本語教室部会会議 28(水)14:00~16:00 (五井公民館研修室1)	(春休み) 23(土)~白金子ども教室 28(木)~五井教室 24(日) バス研修会
--	---	---	---

団 体 会 員

市原ロータリークラブ ☎0438-60-1336 (リプラス内)	市原中央ロータリークラブ ☎37-2545	(株) VONDS 市原 ☎75 (2015)
-------------------------------------	--------------------------	----------------------------

賛 助 会 員

・(医社) 大倉会 ・(医社) 優秀会蔵内医院 ・(医) 鎗田病院 ・市原商工会議所 ・住友化学(株)千葉工場 ・丸善石油化学(株)千葉工場
 ・(株)開運 ・ツルヤマテクノス(株) ・蔭山義人(珈琲カメル) ・JA市原 ・小湊鐵道(株) ・アツマホールディングス(株)
 ・(有)片岡畜産 ・(株)昇和建设・宮地エンジニアリング(株)千葉工場

2023年度国際交流協会総会が開催される 2023・5・17



IIAの2023年度総会が5月17日国分寺公民館に於いて開催され、第1号議〜第4号の各議案がそれぞれ原案通り承認された。議事に続き山崎正夫前会長の退任に伴い久保和子会長、高梨光子・伊東恭一副会長が選任されたことが報告され、承認された。秋元正弘副会長は留任である。総会に続き第2回理事会が開催され、新会長挨拶、各役員員の自己紹介が行われ、今年度行事の内容の報告及び新運営委員2年の任期で承認された。

「関」を胸に皆様と共に

新会長 久保 和子



1991年市原市国際交流協会誕生。今年で32年目となる。創立当時のバタバタ時期を仕切られた初代相川会長。そして続いて2代小宮会長、

3代山中会長、4代山崎会長は時代の流れに沿って巧みに協会を活性化、拡大運営されてこられた。そしてこの度錚々たる方々の賜を引き継ぐこととなった。

協会創立当時は、あちこちの市で国際交流協会が創立され、近隣の協会同志が交流を密にしたものだ。運営の仕方を話し合い、お互いの活動を見学したりと行動範囲が広がった。最近では会員の年齢アップに伴い、外部との接触が減少傾向だ。

IIAの新会長・前会長挨拶

しかし経験豊富なメンバーの力は偉大なものである。更なる協会発展のために若者達の考えや力も導入していきたい。

私は禅語の茶掛けでよく目にする「関」という字が好きだ。勝手な解釈だが、びたりと閉めてどこへも通さぬ、という語気。でもそこを超えれば「東西南北どこへでも立派な道が通じて自由自在だ」というのびやかな境遇を意味する。この字を胸に協会のメンバーや皆様と共に私なりに頑張っていきたい。

ご支援に心から感謝します

前会長 山崎 正夫

この度の総会で久保和子会長にバトンタッチをさせて頂きました。思えばコロナ禍の3年を含めて4期8年の在任中、



楽しかったこと、苦しかったこと等がありましたが、内部からは久保副会長をはじめ協会会員の方々に、外部からは理事や行政関係者の方々に暖かく、力強いご支援を頂き、何とか今日を迎えることができました。皆さん、本当にお世話になりました。深謝いたします。

協会規約で云う「市民が主体の国際交流・協力と多文化共生の構築」は私たちが創立以来求めてきた「道」です。残念ながら、「道」の前方には暗雲が立ち込める昨今ですが、こんな時だからこそ、協会活動を粛々と実施していきましょう。私たちの「小さな一歩」は大きな一歩になる筈です。久保会長率いる新しいIIAの一層のご検討をお祈りいたします。わたしたちも支援を惜しみません。



NECTJ学生交流プログラム

第1回は2018年7名の高校生が市原市を訪問。4月の4日間、ホームステイを経験。日本語教室を見学・参加。習字、ギター、クイズなど盛り沢山のイベントを我等と共に楽しんだ。市長表敬訪問などをチャンネルが取材してくれた。

第2回は2019年3名の高校生が来市。同じく4日間ホームステイ。3名の中の1人、キャサリンはNECTJの東日本大震災の被災地東北3県の高校生を招聘している事業に参加。被災地の学生達をホストファミリーとして3年間受け入れてきた。来日中に受け入れた被災地の子と東京で再開を果たし大喜びということもあった。コロナ禍による3年間の休止の

のち、第3回が今年4月8日から8日間。コロナで最終的に生徒は1名。彼はホームステイ、受入れスケジュールを思う存分1人で満喫。

2024年からNECTJ学生交流プログラムは、IIAの単なる協力ではなく年間事業の一つとなる。皆さん、先入観を持たずに世界に目を向けよう！色々な考え方にぶつかりよう！



NECTJは「米国北東部日本語教師会」の英略字であり、NYに本部がある。NY州とその両隣、コネティカット州とニュージャージー州で日本語を学ぶ中・高校生を、1995年からNECTJの学生交流プログラムで日本へ送り出している。他にも色々な事業を行っている非営利団体である。市原市との係りは、このにほんりようつきせいこいでりこにほんごきょうしがいち日本旅行付添の小出典子日本語教師が市原市出身という事だ。